

MIRS 不具合報告書

3班 報告者 佐藤 柊哉 発見日 令和5年11月20日 完了日 令和5年12月6日

不具合件名	要因分析
走行モータのエンコーダの不具合	急遽 Mega で実装することになり、ソフトとの連携が取れていなかったためだと考えられる。UNO では正しくエンコーダの値が取れ、 Mega でもコンパイルエラーは起きなかったため原因がエレキにあると考え、導通、電圧チェックやオシロスコープで A、B 層の波形を見るなどデバックに時間がかかってしまった。
不具合の概要	また、先代の memolip の基盤を流用したため、それに合わせてピン番号を変更したのみで動作すると思いついてしまったのも原因だと考えられる。
考えられる要因	
<input type="checkbox"/> Arduino UNO から Arduino Mega に実装先を変更したためだと考えられる。	
	不具合箇所の別（エレキ）および詳細
	ここをクリックしてテキストを入力してください。
	対策
	UNO と Mega の外部割り込みピンにはそれぞれ割り込み番号が定義されており、attachInterrupt 関数にその割り込み番号を指定する。UNO は割り込み 0~1、Mega は割り込み 0~6 まで使用可能である。